

豆一俵物語 ～反一俵の大豆の増収で会津を元気にしよう～



だいでず通信 第1号 (通算62号)

(令和5年5月)

会津若松市・磐梯町・猪苗代町・JA会津よつば(あいづ地区)
福島県会津農林事務所農業振興普及部・福島県農業共済組合会津支所
JA全農福島県本部

◆大豆の安定多収への第一歩・・・それは「排水対策」です！◆

播種に向けて万全な準備を行い、好スタートを切りましょう！！

■ほ場の準備

1 田畑転換による連作障害回避

- 連作は避け、ほ場のローテーションを計画的に行い、連作障害を回避しましょう。
- 昨年、連作によりマメシンクイガが多発したほ場がありました。やむを得ず連作する際には、病害虫防除を徹底するようにしましょう。

2 排水対策

出芽～生育初期の湿害が、その後の生育や収量に大きく影響します。
暗渠や明渠による排水対策を必ず行いましょう。

- 本暗渠の目詰まりが無いか確認しましょう。
- 額縁明渠は排水口とつなげましょう。
- 降雨後にほ場に水がたまるような凹み箇所がないか確認しましょう。

3 土づくり

大豆の連作による地力消耗、土壌の酸性化(pH適正值6.0～6.5)、リン酸や石灰分等の不足などが減収の要因となりますので、土づくりを行いましょ。

- 地力低下対策・・・完熟堆肥などの有機物の施用
例)牛ふん堆肥、もみ殻堆肥：いずれも1～2t/10a
- 土壌改良・・・カルシウム補給及び酸度矯正：苦土石灰：80～100kg/10a
リン酸補給：ようりん：30～40kg/10a

4 基肥量の目安

基肥窒素量は、少なすぎると初期生育が劣り、多すぎると蔓化(茎が間延びしてつる状になる現象。倒伏の原因となる)につながることから、適正な量を施用しましょう(表1参照)。

なお、水田転換畑は乾土効果による窒素の発現が多くなることから、基肥窒素量を減らしましょう。

表1 標準的な施肥量の目安(成分量kg/10a)

区分	窒素	リン酸	カリ	備考
基肥	2	6～8	6～8	現物施用量例:大豆専用500を40kg/10a
追肥	(4)	—	—	開花期または湿害時等、必要に応じて

5 耕耘、碎土、整地作業

- ・ロータリーなどで碎土率を確保し、整地をしっかり行くと、出芽や初期生育の揃いが良くなり、除草剤の効果が高まります。
目標とする碎土率は、2cm以下の土塊が70%以上です。
- ・粘土質の土壌では、ロータリー耕を過度に行うと排水性や通気性が悪くなるので注意しましょう。
アップカットロータリーは表面に細かい土、下層に粗い土を集めるので、出芽や生育向上に有効です。

☆トラクター等の農作業機械の使用時には、農作業事故に十分注意しましょう☆

■播種作業

1 種子消毒による病虫害防除の実施

薬剤例 クルーザーMAXX

使用方法 塗沫処理

散布液量 乾燥種子 1 kg あたり 8 mL

適用病虫害 紫斑病、茎疫病、黒根腐病、タネバエ、ネキリムシ類、フタスジヒメハムシ

使用上の留意点 播種機の日詰まり防止のため、薬剤の塗沫処理後は十分に乾燥させましょう。

2 適期播種

播種適期は、5月下旬～6月中旬です。計画的に播種作業を行いましょう。

3 播種深度

播種深度は、3 cmを目安に播種しましょう。

乾燥が続いている場合や砂質土壌ではやや深めに、土壌が湿っている場合や粘土質土壌ではやや浅めに播種しましょう。ただし、5 cm 以上の深播きは出芽遅れの原因となります。事前に試し播きを行い、播種深度を確認しましょう。

■雑草対策

1 雑草対策

雑草対策の基本は、「播種直後の土壌処理剤散布」「生育初期の茎葉処理剤散布」「中耕・培土作業」です（下図）。

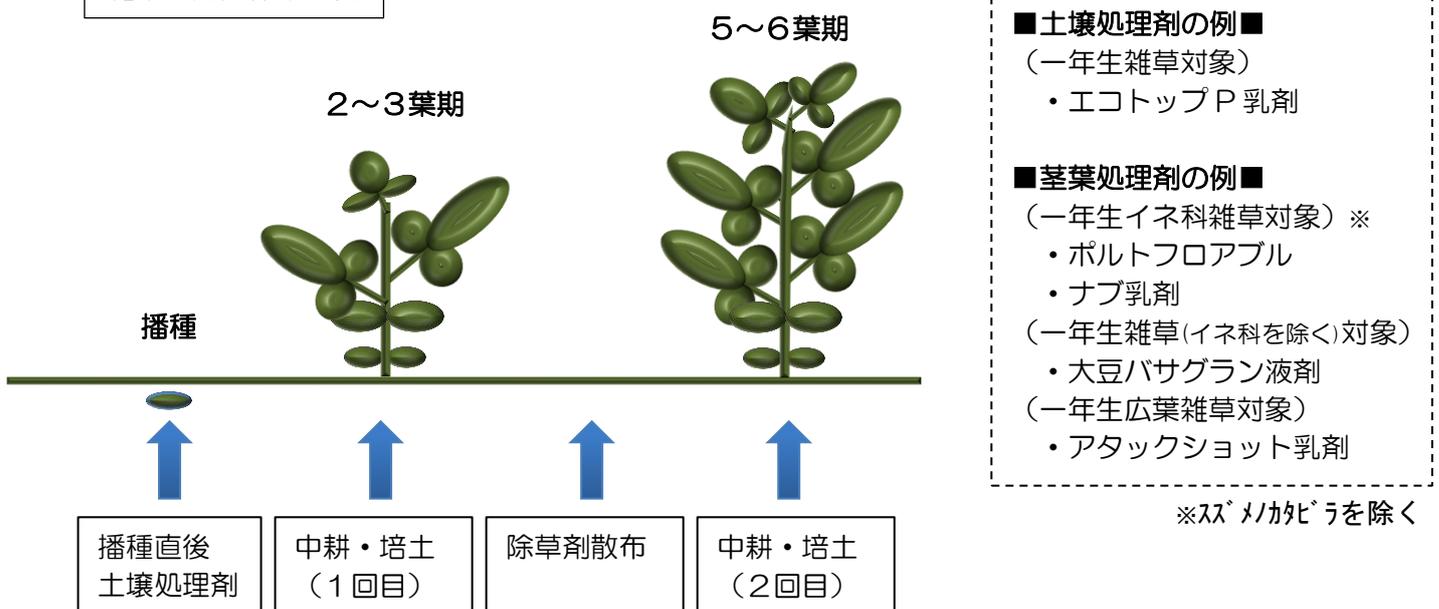
播種前の耕耘で雑草を完全に抑えられなかった場合には、非選択性除草剤の使用も検討しましょう。

2 中耕・培土

中耕・培土は土壌を攪拌し、雑草の発生を抑え、倒伏防止にもつながる、収量を上げるための重要な作業です。1回目は大豆2～3葉期、2回目は大豆5～6葉期が作業の適期です。

大豆の生育が進み過ぎてから中耕・培土作業行くと、根や茎、葉が傷つけられ生育が停滞するので、遅くとも開花期の10日前までには終わらせるようにしましょう。（詳細は第2号でお知らせします。）

雑草の防除体系の例



☆農薬を使用する際は、最新の農薬登録情報を確認するとともに周辺へ飛散しないよう対策を行いましょう☆